

分析室を開設しました ～分析の内製化で開発業務のスピードを加速～

株式会社 豊栄商会（本社 愛知県豊田市堤町寺池 66 番地 / 代表取締役社長 樹神 康之）は、技術センター（愛知県碧南市明石町 7 番 7）敷地内に分析室を開設しました。これは、社内で発生する分析工程を内製化するためであります。従来は社外の分析機関に依頼しておりましたが、タイムリーに分析結果が出てこないなどの課題があったため、迅速に分析結果を把握できるよう体制を整備することとしました。

○ 設置する主な分析装置の概要

● ICP 発光分析装置

ICP は酸などで溶解した溶液をアルゴン気流中で燃焼させ、発光する波長の強度から分析濃度を求める装置で、化学分析室では定番の分析装置です。弊社では粉体試料や金属試料の亜鉛(Zn)、鉛(Pb)、鉄(Fe)などの分析に使用します。

● 燃焼イオンクロマト分析装置

イオンクロマトは各物質の中のイオンを分析する装置で、溶液化した分析液を検出カラムの中を通し分析します。イオンクロマトは一般的に水質のイオンを測定する装置ですが、燃焼装置を付けることによって粉体試料も分析できます。弊社では粉体試料のハロゲン元素（F、Cl など）に使用します。

● 分析走査型電子顕微鏡/エネルギー分散型 X 線分析装置

走査型電子顕微鏡/エネルギー分散型 X 線分析装置は一般的には SEM-EDX と言われており、電子顕微鏡で微細な部分を観察しその部分の成分を X 線で分析する装置です。弊社では粉体試料の表面観察、成分分析に使用します。その他にはアルミニウム溶湯の介在物や異物の調査にも使用します。

● X 線回折分析装置

X 線回折は X 線の回折を利用して分析する装置で、物質の化合物が分析できます。弊社では粉体試料の亜鉛(Zn)の結合状態を観察し、化合物の定性、定量分析に使用します。

以上